



## 2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年6月28日

上場会社名 DCMホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3050 URL https://www.dcm-hldgs.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CEO (氏名) 久田 宗弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 熊谷 寿人 TEL 03-5764-5214  
 四半期報告書提出予定日 2019年7月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第1四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	115,854	△1.6	6,812	9.5	6,675	11.8	4,656	14.7
2019年2月期第1四半期	117,766	△0.5	6,222	△10.4	5,970	△12.6	4,061	△8.2

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 3,187百万円 (△34.8%) 2019年2月期第1四半期 4,889百万円 (14.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年2月期第1四半期	34	85	30	20
2019年2月期第1四半期	29	42	25	59

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	427,142	189,763	189,763	188,404	44.4
2019年2月期	415,684	188,404	188,404	188,404	45.3

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 189,763百万円 2019年2月期 188,404百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2019年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	13.00	—	14.00	27.00
2020年2月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	234,700	1.2	14,200	9.7	14,000	13.5	9,300	14.1	69.61
通期	449,500	0.8	23,000	9.5	22,600	13.5	14,000	14.3	104.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期1Q	142,577,105株	2019年2月期	142,575,035株
② 期末自己株式数	2020年2月期1Q	8,917,692株	2019年2月期	8,972,792株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期1Q	133,629,267株	2019年2月期1Q	138,047,450株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
商品別売上情報	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境に回復基調があるものの、企業収益には減速傾向が見られました。また、米中貿易摩擦による制裁発動や欧米・中国の景気減速、中東や朝鮮半島における地政学リスクの高まりなど先行きについては不透明感が高まりつつあります。

小売業界におきましては、先行きへの不安も伴い個人消費は力強さに欠け、また業態を超えた販売競争もあり、依然として厳しい経営環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店については3店舗、退店については1店舗を実施しました。これにより当第1四半期連結会計期間末日現在の店舗数は673店舗（DCMカーマ169店舗、DCMダイキ156店舗、DCMホームマック293店舗、DCMサンワ33店舗、DCMくろがねや22店舗）となりました。

販売面においては、需要期である春先の気温が低く、園芸・植物等が低調となりました。一方、2019年10月に予定されている消費税増税を睨んだ需要により、エクステリア・リフォーム等の高単価商品が好調に推移しました。DCMブランド商品については、商品開発・販促強化等に取り組んだ効果もあり好調に推移しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は1,158億5千4百万円（前年同期比98.4%）、営業利益は68億1千2百万円（前年同期比109.5%）、経常利益は66億7千5百万円（前年同期比111.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億5千6百万円（前年同期比114.7%）となりました。

なお、セグメントごとの経営成績については、9ページ「セグメント情報等」をご覧ください。

## (主要商品部門別の状況)

## ① 園芸部門

植物や園芸用品は、春先からゴールデンウィークにかけて気温が低く低調となりました。一方、DCMブランド商品の除草剤、花苗・野菜苗、玉砂利等が好調に推移しました。その結果、売上高は213億2千5百万円（前年同期比95.0%）となりました。

## ② ホームインブルーメント部門

昨年来の自然災害により売場強化を図った防災用品やDCMブランドの電動工具が好調に推移しました。一方、降雨量が少なかったことから、合羽・長靴等は低調となりました。その結果、売上高は227億5千2百万円（前年同期比99.5%）となりました。

## ③ ホームレジャー・ペット部門

レジャー用品は、DCMブランド商品を中心にアウトドア用品が好調に推移しました。一方、自転車やペットフードは低調となりました。その結果、売上高は172億3千1百万円（前年同期比99.4%）となりました。

## ④ ハウスキーピング部門

日用消耗品等については、価格訴求型から提案型の売り方へと移行をすすめたことにより、売上高は前年を下回りましたが、売上総利益は伸長しました。その結果、売上高は256億6千0百万円（前年同期比95.3%）となりました。

## ⑤ ホームファニッシング部門

DCMブランド商品については、機能性を高めたカーテン・すだれ・床材などが好調に推移しました。一方、春物寝具や収納用品等は低調となりました。その結果、売上高は67億3千4百万円（前年同期比96.1%）となりました。

## ⑥ ホームエレクトロニクス部門

照明や家事家電は低調となりましたが、冷房用品や空調機器は好調となりました。また、エクステリア・リフォーム等も好調に推移しました。その結果、売上高は92億3千5百万円（前年同期比100.2%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、季節的要因により売掛金や商品在庫が増加した一方、時価評価により投資有価証券が減少したことなどから、資産合計は前連結会計年度末に比較して114億5千7百万円増加し、4,271億4千2百万円となりました。

負債残高は、季節的要因による買掛金の増加等により、負債合計は前連結会計年度末に比較して100億9千9百万円増加し、2,373億7千9百万円となりました。

純資産残高は、配当金の支払やその他有価証券評価差額金の減少の一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して13億5千8百万円増加し、1,897億6千3百万円となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきましては、2019年4月12日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,763	17,774
受取手形及び売掛金	13,500	20,686
リース投資資産	2,631	2,583
商品	97,199	104,020
その他	7,786	8,185
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	136,882	153,250
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	221,938	222,996
減価償却累計額	△128,275	△130,426
建物及び構築物(純額)	93,662	92,570
土地	80,851	80,726
リース資産	18,261	18,275
減価償却累計額	△4,790	△5,000
リース資産(純額)	13,470	13,274
建設仮勘定	607	834
その他	39,958	40,222
減価償却累計額	△31,851	△32,433
その他(純額)	8,107	7,788
有形固定資産合計	196,699	195,194
無形固定資産		
のれん	1,320	1,247
借地権	6,451	6,453
ソフトウェア	5,225	5,172
その他	235	233
無形固定資産合計	13,233	13,106
投資その他の資産		
投資有価証券	20,346	18,325
敷金及び保証金	41,379	41,051
繰延税金資産	3,682	2,923
長期前払費用	2,670	2,541
その他	861	819
貸倒引当金	△70	△70
投資その他の資産合計	68,868	65,590
固定資産合計	278,801	273,892
資産合計	415,684	427,142

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,130	39,055
電子記録債務	18,752	21,928
短期借入金	27,550	30,450
1年内返済予定の長期借入金	8,823	7,512
リース債務	744	812
未払法人税等	4,282	1,459
賞与引当金	2,243	1,508
役員賞与引当金	—	3
ポイント引当金	642	634
その他	13,306	14,615
流動負債合計	105,476	117,981
固定負債		
社債	10,000	10,000
新株予約権付社債	19,884	19,882
長期借入金	63,689	62,624
リース債務	15,678	15,486
繰延税金負債	1,639	1,139
再評価に係る繰延税金負債	147	147
役員株式給付引当金	84	96
退職給付に係る負債	267	265
資産除去債務	1,941	1,950
長期預り金	5,282	5,236
その他	3,187	2,567
固定負債合計	121,803	119,397
負債合計	227,279	237,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,058	10,059
資本剰余金	45,135	45,136
利益剰余金	140,015	142,787
自己株式	△8,985	△8,932
株主資本合計	186,223	189,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,991	2,567
繰延ヘッジ損益	21	△12
土地再評価差額金	△1,935	△1,935
退職給付に係る調整累計額	103	93
その他の包括利益累計額合計	2,181	712
純資産合計	188,404	189,763
負債純資産合計	415,684	427,142

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	116,010	114,079
売上原価	77,934	76,405
売上総利益	38,075	37,674
営業収入		
不動産賃貸収入	1,755	1,775
営業総利益	39,831	39,449
販売費及び一般管理費	33,609	32,636
営業利益	6,222	6,812
営業外収益		
受取利息	53	43
受取配当金	50	56
為替差益	16	154
持分法による投資利益	58	32
その他	99	111
営業外収益合計	277	399
営業外費用		
支払利息	500	475
その他	29	61
営業外費用合計	529	536
経常利益	5,970	6,675
特別利益		
固定資産売却益	16	0
子会社清算益	—	60
その他	—	0
特別利益合計	16	60
特別損失		
固定資産除売却損	31	48
減損損失	—	14
賃貸借契約解約損	—	25
災害による損失	—	3
店舗閉鎖損失	15	0
その他	38	0
特別損失合計	85	93
税金等調整前四半期純利益	5,901	6,643
法人税、住民税及び事業税	1,534	1,189
法人税等調整額	305	797
法人税等合計	1,840	1,986
四半期純利益	4,061	4,656
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,061	4,656



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	4,061	4,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	663	△1,205
繰延ヘッジ損益	23	△34
退職給付に係る調整額	△15	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	157	△219
その他の包括利益合計	828	△1,468
四半期包括利益	4,889	3,187
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,889	3,187
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホーマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	33,480	23,690	48,378	12,216	117,766	—	117,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	1	3	13,468	13,512	△13,512	—
計	33,519	23,691	48,381	25,684	131,278	△13,512	117,766
セグメント利益	2,041	1,285	2,340	2,700	8,367	△2,145	6,222

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)及びDCMサンワ(株)並びにDCMくろがねや(株)における取引等です。

2. セグメント利益の調整額△2,145百万円は、セグメント間取引消去△2,145百万円、その他0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
記載すべき事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	DCMカーマ	DCMダイキ	DCMホーマック				
営業収益							
外部顧客への売上高	32,468	22,595	47,547	13,243	115,854	—	115,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	1	2	16,176	16,220	△16,220	—
計	32,508	22,596	47,550	29,420	132,075	△16,220	115,854
セグメント利益	1,921	1,164	3,107	3,641	9,834	△3,021	6,812

(注) 1. その他は、DCMホールディングス(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)及び(株)マイボフェローズにおける取引等です。

2. セグメント利益の調整額△3,021百万円は、セグメント間取引消去△3,020百万円、その他△0百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
記載すべき事項はありません。

3. 補足情報  
商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第1四半期 連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸	22,447	19.3	21,325	18.7	61,626	14.0
ホームインプルーブメント	22,877	19.8	22,752	19.9	90,097	20.5
ホームレジャー・ペット	17,338	14.9	17,231	15.1	64,775	14.8
ハウスキーピング	26,934	23.3	25,660	22.5	106,935	24.3
ホームファニッシング	7,006	6.0	6,734	5.9	26,677	6.1
ホームエレクトロニクス	9,217	7.9	9,235	8.1	46,835	10.7
その他	7,768	6.7	8,181	7.2	32,698	7.5
ホームセンター事業計	113,590	97.9	111,120	97.4	429,645	97.9
商品供給高	2,420	2.1	2,959	2.6	9,037	2.1
合計	116,010	100.0	114,079	100.0	438,683	100.0

- (注) 1. 記載金額には消費税等は含まれておりません。  
2. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、屋外資材、植物他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器、住宅設備、エクステリア他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他

3. 当第1四半期連結累計期間においてホームセンター事業の商品区分を一部変更したため、前年比較にあたっては、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度分を変更後の区分に組替えて表示をしております。